

目ざまし時計

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用願います。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどご不明なことがございましたら、
製品本体の裏面または底面に表示しております製品番号(品番)をご確認の
上、お買い上げ店または、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせ
ください。(例:AMOOO、PWOOO、KROOOなど)

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

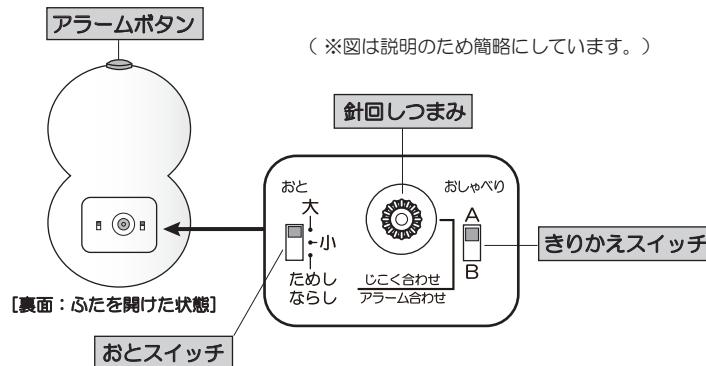
セイコークロック株式会社

説明書番号 DFD-052P

ご使用方法 ▶ (時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。)

ご使用の前に付属品をご確認ください。

- 単3マンガン乾電池 3個
- 取扱説明書/保証書(本書) 1枚



1 ~ 8 の手順にしたがって操作してください。

1 時計底面の電池ぶたを開ける

底面の電池ぶたを開けてください。

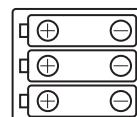
2 電池を入れる

単3マンガン乾電池 3個

①②をまちがえないように注意してください。

- 単3アルカリ乾電池もご使用になります。

△ 注意: 単3アルカリ乾電池と単3マンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。



3 現在時刻を合わせる

裏面のふたを開けてください。

針回しつまみを手前に引いて回し現在時刻に合わせてください。

(左右どちらにまわしてもかまいません。)

合わせたあとつまみを押し戻してください。

4 アラーム時刻をセットする

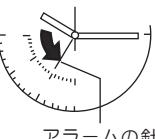
針回しつまみを押し込んだ状態でまわしてください。

- アラーム時刻を合わせるときは、アラームの針を、必ず ↗ 方向(反時計まわり)にまわしてください。

※時計まわりにアラームの針をまわすと、セットした時刻より早く鳴りだすことがあります。

- アラームは、セットした時刻の5分前から5分過ぎの間に鳴りだします。

[例えば、7時に合わせたとき、6時55分から7時5分の間に鳴りだします。]



※スイッチ類および針回しつまみは、製品により位置が異なる場合がありますが、操作方法は同じです。
※この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等によりアラームの誤作動等がおこることがあります。故障ではありません。電池をはずし、2~3分おいてから電池を入れ直してください。

5 アラーム音を選択する

きりかえスイッチでアラーム音を選んでください。

アラーム音は「おしゃべりA」または「おしゃべりB」の2種類から選べます。

6 音量を切替える

おとスイッチを「大」または「小」に合わせてめざましの音量を選択してください。

7 アラームを鳴らす/アラームを鳴らさない

アラームボタンを押すたびにアラームの「ON」と「OFF」が切り替わります。
(スイッチがより出っ張った状態が「ON」です。)

アラームボタンを「ON」にする
-----セットした時刻になるとアラームが鳴ります。

アラームスイッチを「OFF」にする
-----アラームは鳴りません。



8 アラームを止める

アラームボタンを「OFF」にしてください。

ためしならしについて

おとスイッチを「ためしならし」の位置に合わせ、アラームボタンを「ON」(上)にしてください。きりかえスイッチで選択されたアラーム音が鳴り続けます。

ためしならしを途中で止めることは、アラームボタンを「OFF」(下)またはおとスイッチを「小」または「大」に合わせてください。

必ずお読みになってからご使用ください。▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50°C(50度)以上になる所や直射日光のある所。
例えは、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10°C(氷点下10度)以下になる所。
プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 塵・埃の多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室のように湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。
- ピニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶



注意

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) (+) (-) を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。



警告

<アルカリ電池について>

(1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

製品仕様 ▶ (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 精 度：平均月差±20秒
(気温5°Cから35°Cで使用した場合)
- 使 用 温 度 範 囲：-10°C～+50°C
- ア ラ ーム 精 度：±5分以内
- 使 用 電 池：単3マンガン乾電池(R6P) 3個
※単3アルカリ乾電池(LR6)もご使用になれます。
△ 注意：アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 電 池 寿 命：単3マンガン乾電池→約1年
※単3アルカリ乾電池→約1.5年
(1日につきアラームを音量「小」で30秒間使用した場合)
- 音 量 調 節：「小」⇒「大」切替式

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に對してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。